

キャリアの高さに注目のオーストラリア債券投資

横谷 宏史

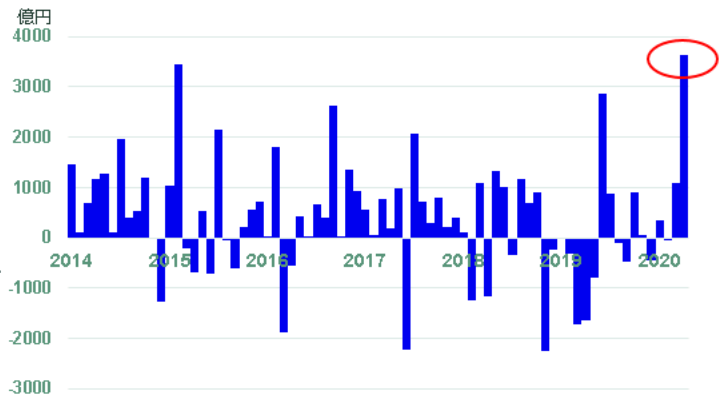
ステート・ストリート・グローバル・
アドバイザーズ株式会社
運用部
マネージング・ディレクター

6月に発表された4月の国際収支統計で先進国債券は米国を中心に大幅な売り越しになった一方、オーストラリアとカナダは大幅な買い越しとなったことは市場で注目を集めました。

図表1で本邦投資家のオーストラリア国債の購入額（ネット）を見ると、4月は統計開始以来最大の買い越しとなっています。

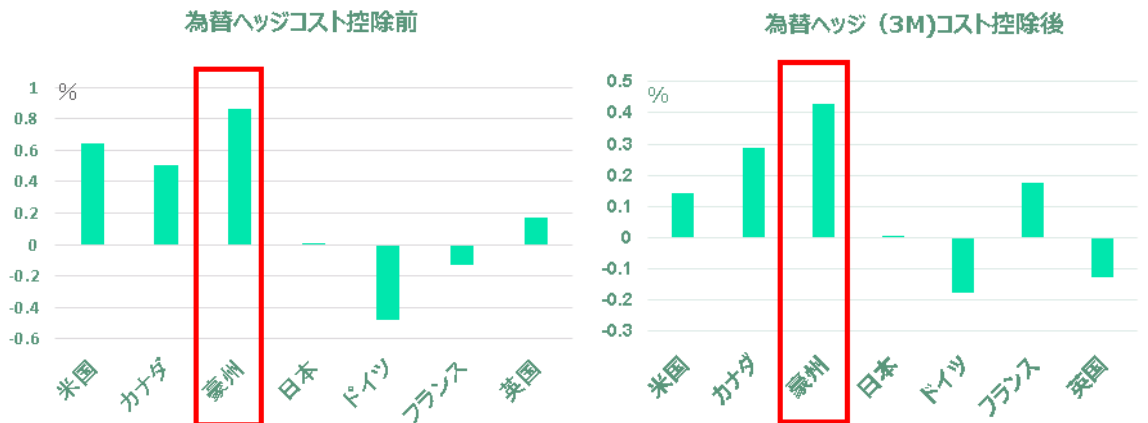
図表2は先進国7カ国の10年国債の金利水準を為替ヘッジコスト控除前後でそれぞれ比較したのですが、いずれもオーストラリアの金利はこの中で最も高い水準となっています。コロナショックを受けて先進国国債金利が大きく低下する中、ここにきてオーストラリア債券のキャリアの高さに注目が集まっていると見られます。

図表1:本邦投資家のオーストラリア国債投資（ネット）



出所：日本銀行（2020年4月まで）

図表2:先進7カ国の10年国債金利



出所:ブルームバーグのデータより筆者作成(2020年6月26日時点)

新型コロナ感染拡大に対応し、オーストラリア中銀（RBA）は、3月3日と19日に0.25%ずつ、合計50bpの利下げを行いました。一方で米国では3月に150bpにも及ぶ利下げが行われ、社債買い入れ等も含む無制限の量的緩和がアナウンスされました。コロナショック下で米国と比較してオーストラリアの金利低下幅は小幅にとどまり、長期金利水準は米国を逆転しました（図表3）。

図表3:先進7カ国の2-10年国債長短金利差



出所：ブルームバーグのデータより筆者作成（2020年6月26日時点）

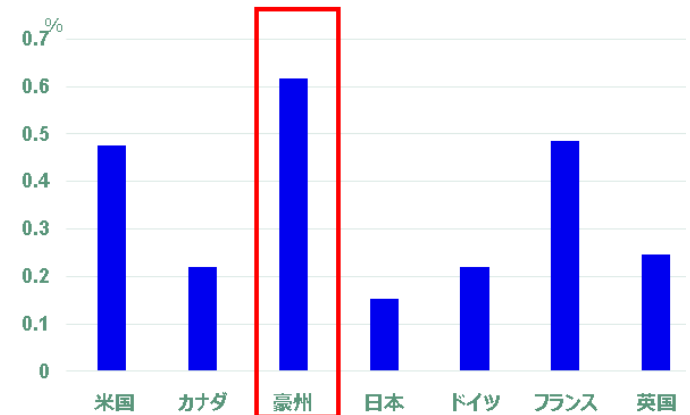
RBAは3月19日の利下げと同時に、量的緩和としての国債買い入れを発表しました。RBAはターゲットをある程度明示したイールドカーブ・コントロールを導入し、3年物国債金利が0.25%となるように国債および州債買い入れを行う決定を行いました。RBAは、3年債利回りの引き上げは雇用やインフレの目標達成が進展するまで行わないとしており、同政策の出口は当面先になると見られます。

オーストラリアのファンダメンタルは好材料が目立ちます。同国は中国との貿易関係が深いことで知られており、いち早く経済活動が再開に向かっている中国の回復期待の高まりの恩恵を足下受ける形となっています。またIMFのリサーチによれば、直接的な財政支出額で見た経済対策がGDP10%超に達し、G20でもっとも高い水準となっています（2020年4月8日時点）。

新型コロナ感染に関しても、人口当たりの検査数が先進国でトップ水準の中で感染者拡大に歯止めがかかっていることも好材料で、豪ドルは3月下旬以降、堅調に推移しています。金融政策による短期金利のコントロールと景気回復期待を反映し、同国の長短金利差（2-10年）は先進7カ国の中で最も大きく、同国の債券投資はキャリーやロールダウンの投資妙味が相対的に高くなっています（**図表4**）。

オーストラリアでも5月の雇用統計が下振れるなど、本格的な景気回復が明確化するにはまだ時間を要するものと思われます。先行きコロナ感染の第2波、第3波にも警戒を緩めることはできません。一方で、G10の経済サプライズ指数を見ると経済指標の上振れ傾向が顕著で（**図表5**）、景気回復期待は先行して高まっています。こうしたトレンドに乗じ、債券投資から確実にインカム収入を享受する戦略として、オーストラリア債券投資は有効な手段の1つであると筆者は考えています。

図表4：先進7カ国の2-10年国債長短金利差



出所：ブルームバーグのデータより筆者作成（2020年6月26日時点）

図表5：G10諸国の経済サプライズ指数*



*経済サプライズ指数：経済指標のブルームバーグ集計の事前予想値に対する上振れ、下振れを指数化したもの

出所：シティバンク、ブルームバーグ2020年6月26日時点

ご留意事項

- ・本資料は、弊社の運用に関する見解や手法等をご紹介するために作成・提供されるものであり、特定の金融商品への投資を勧誘する目的のものではありません。
- ・本資料は、信頼しうると考えられる情報源から得たものですが、正確性・完全性は保証するものではありません。また、内容につきましては、予告なく変更される場合があります。過去の実績は、将来の投資成果を保証するものではありません。
- ・本資料は2020年7月1日時点の執筆者横谷宏史の見解であり、市場やその他状況の変化に伴い、予告なく変わることがあります。本資料には将来予測の表明とみなされ得る一定の情報が含まれています。そうした表明は将来の運用成果を保証するものではなく、実際の結果や展開はそうした予想とは大きく異なる可能性があります。
- ・なお、実際の運用戦略においては、値動きのある有価証券等に投資します。有価証券の価格は市場環境、有価証券の発行会社の業績、財務状況等により価格が変動するため、損失を被る事があります。また、外貨建の資産に投資する場合には、為替変動により損失を被ることがあります。
- ・本資料に表示している各種シミュレーション・データは、過去のデータに基づき弊社モデルを利用したバックテスト結果であり、将来の運用収益を保証するものではありません。
- ・弊社ならびに弊社グループ会社における運用に係る研究開発事例、運用スタイル、運用戦略、投資環境等をご紹介するものであり、特定の金融商品の勧誘を目的とするものではないため、運用に係る手数料・報酬等の金額および計算方法等を予め示すことができません。
- ・本資料に記載の各インデックスの著作権・知的所有権その他一切の権利は各インデックスを算出・公表している機関・会社に帰属します。
- ・本資料の二次使用、複写、転載、転送等を禁じます。
- ・本資料の記載内容は2020年7月時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

金融商品取引業者 登録番号 関東財務局長（金商）第345号

加入協会：一般社団法人 日本投資顧問業協会、一般社団法人 投資信託協会、日本証券業協会
ssga.com/jp

著作権© 2020 State Street Corporation. All Rights Reserved. 不許複製

Tracking Number: 3144880.1.1.APAC.RTL, Exp. Date: 9/30/2020